

マーケットの動き（2021年10月4日～10月8日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。
中国経済の先行き不透明感や原油高に伴う資源価格の高騰、景気停滞下での物価上昇懸念により、米ドルは主要通貨に対し上昇しました。
ユーロは、対円で上昇した一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2021年10月）

円に対して、米ドルは緩やかに上昇、ユーロは底堅く推移

米ドル：米国において、雇用情勢の改善や、部材供給制約は解消に向かい経済活動正常化が進むとみられることに加え、FRB（連邦準備制度理事会）による金融政策の正常化に向けた動きも意識されやすく、米ドルは円に対して緩やかに上昇するとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）が当面は緩和的な金融政策を続けるとみられるものの、ユーロ圏の比較的堅調な経済活動に支えられ、ユーロは円に対して底堅く推移するとみています。ただし、ドイツにおける連立政権協議の長期化など、政治動向が材料視される場面では、ユーロの値動きは重くなるとみています。

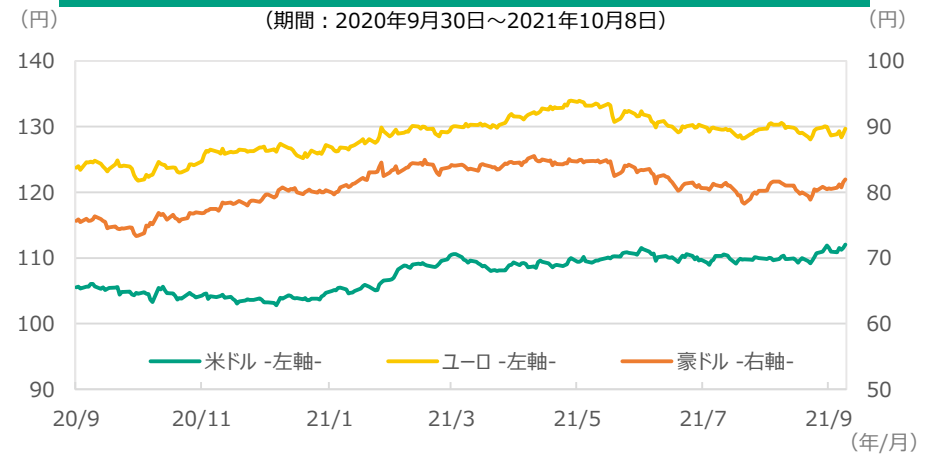
	10月8日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	112.04	1.08	1.71	2.77	6.02
ユーロ/円	129.68	0.99	▲0.65	▲0.33	5.11

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

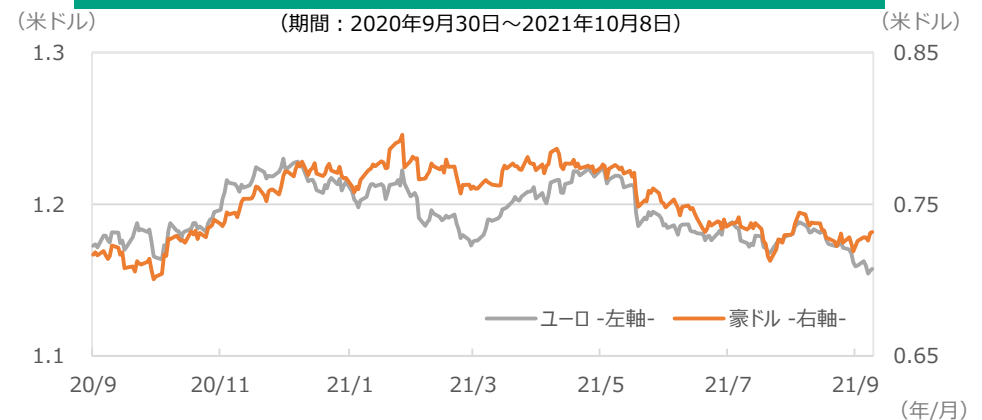
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202110_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>